

専門及び更新研修【実務者・初回】前期 1 日目～11 日目（専門研修課程Ⅰ）研修カリキュラム

科目名	カリキュラムの要約内容	日数	時間数
介護保険制度及び地域包括システムの現状	介護保険制度の動向や、地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取り組みを理解したうえで、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及び家族の支援をしていくに当たって、関連する制度を理解する。	1 日目	講義 3 時間
ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	実践を通じて感じた医療との連携や多職種協働に関する課題を踏まえ、今後の実践に向けて必要な知識・技術を理解する。	1 日目	講義 4 時間
対人個別援助技術及び地域支援術	対人援助技術（ソーシャルケースワーク）と地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の違いと役割を理解する。	2 日目	講義 3 時間
ケアマネジメントの実践における倫理	ケアマネジメントを実践する上で感じた倫理的な課題を踏まえて、チームで対応していく際のチームアプローチの方法及び高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等を理解する。	2 日目	講義 2 時間
個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	指導・支援・コーチング、スーパービジョン等の違いを踏まえ、自らがそれを受ける際の心構えや、専門職として自己研鑽を行うことの重要性を理解する。	2 日目	講義 2 時間
ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	介護支援専門員としての実践の振り返りを通じてケアマネジメントプロセスを再確認したうえで、専門職としての自らの課題を理解する。	3 日目 6 H 4 日目 6 H	講義 演習 12 時間
ケアマネジメント演習 28 時間及び研修の振り返り			
家族への支援の視点が必要な事例	家族への支援が必要な事例を用いて講義・演習を行うことで、家族支援の視点も踏まえたケアマネジメント手法を修得する。	5 日目	講義 演習 4 時間
入退院時における医療との連携に関する事例	入退院時等における医療との連携に関する事例を用いて講義・演習を行うことで、医療との連携に必要な知識及びケアマネジメントの手法を修得する。	6 日目	講義 演習 4 時間

認知症に関する事例	認知症に関する事例を用いて講義・演習を行うことで、認知症に関する知識及びケアマネジメント手法を修得する。	7 日目	講義 演習 4 時間
看取り等における看護サービス活用に関する事例	看護サービスの活用が有効な事例を用いて講義・演習を行うことで、看護サービスの活用に係る知識及びケアマネジメント手法を修得する。	8 日目	講義 演習 4 時間
リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	リハビリテーションや福祉用具等のサービスの活用が有効な事例を用いて講義・演習を行うことで、リハビリテーションや福祉用具の活用に係る知識及びケアマネジメント手法を修得する。	9 日目	講義 演習 4 時間
社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例を用いて講義・演習を行うことで、利用者が活用しうる知識及び関係機関等との連携を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。	10 日目	講義 演習 4 時間
状況に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス）の活用に関する事例	状況に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス）の活用に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、介護保険で提供される地域密着型サービス等の活用に係る知識及びケアマネジメント手法を修得する。	11 日目	講義 演習 4 時間
研修全体を振り返っての意見交換、評価及びネットワークづくり	更新研修前期（専門研修過程Ⅰ）研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。また、研修受講者間でのネットワーク構築を図る。	11 日目	講義 2 時間

専門及び更新研修【実務者・初回】後期 12 日目～15 日目（専門研修課程Ⅱ）研修カリキュラム			
科目名	カリキュラムの要約内容	日数	時間数
介護保険制度及び地域包括システムの今後の課題	介護保険制度の最新の動向や地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取り組みを理解したうえで、今後の地域包括ケアシステムの展開を理解する。 また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度を理解する。	12 日目 A M	講義 4 時間
家族への支援の視点が必要な事例	家族への支援の視点が必要な自己事例を用いて演習を行うことにより、家族への支援の視点も踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。また演習等で得られた家族への支援に係る示唆、留意点を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を習得する。	12 日目 P M	講義 演習 4 時間

リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	リハビリテーションや福祉用具活用の自己事例を用いて知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。他の事例に対応できる知識・技術を修得する。	13 日目 A M	講義 演習 4 時間
社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する自己事例を用いて演習を行うことにより、利用者が活用することができる制度に関する知識及び関係機関等との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。また演習等で得られた社会資源の活用に向けた関係機関との連携に係る示唆、留意点を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を習得する。	13 日目 P M	講義 演習 4 時間
看取り等における看護サービス活用に関する事例	看護サービスの活用が必要な自己事例を用いて演習を行うことにより看護サービスの活用に係る示唆、留意点等の知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。他の事例に対応できる知識・技術を修得する。	14 日目 A M	講義 演習 4 時間
入退院時における医療との連携に関する事例	入退院時における医療との連携に関する自己事例を用いて演習を行うことにより、医療との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。演習等で得られた入退院等における医療との連携に係る示唆、留意点を踏まえ他の事例にも対応することができる知識・技術を習得する。	14 日目 P M	講義 演習 4 時間
認知症に関する事例	認知症に関する自己事例を用いて演習を行うことにより認知症に関する知識及び、認知症の要介護者等に有効なサービスを活用した効果的なケアマネジメント手法を修得する。演習で得られた認知症の要介護者等に有効なサービスの活用に係る示唆、留意点を踏まえ他の事例にも対応することができる。	15 日目 A M	講義 演習 4 時間
状況に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス）の活用に関する事例	状況に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス）の活用に関する自己事例を用いて演習を行うことにより、介護保険で提供される地域密着型サービス等の活用に係る知識及びマネジメント手法を修得する。	15 日目 P M	講義 演習 4 時間

※研修では、5 日目～15 日目の研修カリキュラムの順番が変更になることがございますのでご了承ください。